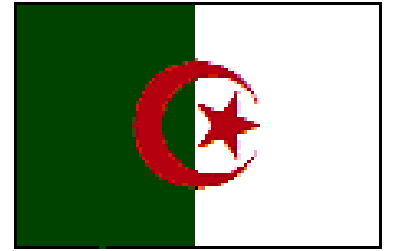


アルジェリア



【国土】

- アルジェリアの広大な領土（238 万 1,741 km²）は世界第9位，アフリカ大陸では第1位の面積を誇る（日本の約6.4倍，南北スーダンの分裂により第1位となった）。また，南部には国土の85%以上を占める広大なサハラ砂漠を抱える他，有史以前の壁画やローマ時代の遺跡等計7つの世界遺産が指定されており，観光地になっている。全国に58県が所在。
- 国土は，天然ガス，原油，リン鉱石，鉱石等の天然資源に恵まれている（天然ガスの生産量は世界第9位（British Petroleum 統計（2016年）））。

【地震国】

- アルジェリアは、我が国と同じく地震国である。2003年5月21日、アルジェリアの首都アルジェ東方のブーメルデス県で地震が発生し、甚大な被害を与えた（死者2,278名、負傷者1万1,450名（2003年12月の閣議発表）。我が国は、アルジェリア政府の要請を受け、国際緊急援助隊90名を派遣し（1名の救助に成功）、10万ドルの緊急援助を行った。また、地震による被害を受けたブーメルデス県とアルジェ県の学校が円借款により再建された。
- 阪神大震災の際にアルジェリアが被災者に寄贈した大型テントは「アルジェリアテント」と呼ばれ、神戸市民から感謝されている。

- ブーメルデス県での地震後，神戸市の小学校の児童たちから励ましのメッセージが届けられたことをきっかけに，2004年，ブーテフリカ大統領が訪日した際，神戸市に立ち寄り，小学校の児童たちと対面する機会が設けられた。
- 2011年3月の東日本大震災の際に，アルジェリア政府から，1,000万米ドルの義援金が供与された。
- 2014年8月にもアルジェ近海を震源とするM5.6の地震が発生し，死者6名・負傷者400名以上という被害を与えた。
- 近年アルジェリア国内では，死傷者を伴うような大きな地震は発生していない。

【歴史】

- アルジェリアの民族の起源と歴史は地中海世界の歴史に重なる。北アフリカからサハラ砂漠にかけて分布するベルベル語社会を核として、フェニキア（紀元前9～2世紀）、カルタゴ（紀元前6～2世紀）、ローマ（紀元前2～紀元5世紀）、ヴァンダル（紀元5～6世紀）、ビザンチン（紀元6世紀）、そしてアラブ（紀元7世紀～）と共存あるいは拮抗しつつ生き抜いてきたアルジェリア人は、16世紀にはオスマン・トルコ帝国の版図に入る。
- 19世紀以降、フランスによる併合、植民地支配により芽生えたナショナリズムを背景に、第二次大戦後、アルジェリアは激しい対仏独立戦争を繰り広げ、1962年に独立を果たした。この独立戦争は当時の反植民地主義、民族主義運動に大きな影響を与えることになった。アルジェ市北部に位置しアルジェ湾に向かう斜面に広がる旧市街カスバ（昭和の歌謡曲『カスバの女』のモチーフ）は、世界遺産にも指定されているが、

独立戦争の舞台でもあった。映画「アルジェの戦い」の舞台もカスバ。

- 2012年7月5日には、独立50周年を迎えた。同年は、我が国とアルジェリアの間に外交関係が樹立された50周年でもあった。
- 2017年7月4日には、我が国とアルジェリアの外交関係樹立55周年を祝う記念式典が、国立書道博物館と在アルジェリア大使館との共催で世界遺産のムスタファ・パシヤ宮殿にて開催された。

【スポーツ】

- サッカーが盛んで、アフリカでも最強国の1つ。フランスのナショナルチームでプレーしていたジダンもアルジェリア系2世。2014年ブラジルワールドカップにも出場。予選リーグを突破し、決勝トーナメント1回戦（ベスト16）では優勝したドイツとの間で延長戦にもつれ込む接戦を演じた。
- 柔道の人気も高い。我が国は、アルジェリア国内で行われている柔道の活動を支援している。2005年には文化無償資金協力としてアルジェリア柔道連盟に対する柔道器材供与を行った。また、2015年には谷本歩実オリンピック金メダリストがアルジェリアを訪問し、柔道のデモンストレーションを実施したほか、2017年には全日本柔道連盟から久保比十志コーチが一年間派遣され、アルジェリアのナショナルチームの指導を行った。アルジェリアは、アフリカ大会では常に上位を占め、アラブ大会でも優秀な成績を修めている。強化トレーニング等に参加するため、定期的に訪日する柔道関係者がいる。

- 独立直後の1964年の東京五輪には、アルジェリアから体操選手が1名出場した。そのモハメド・ヤマニ氏が独立アルジェリアとして初の五輪選手。
- 2016年のリオ五輪では、男子1,500メートルでタウフィク・マフルーフィー選手が銀メダルを獲得した。

【音楽】

- 伝統的音楽はアンダルーとシャビー。リュート、ギター、ヴァイオリン等の弦楽器と打楽器（ダルブッカ）が用いられ、北アフリカの伝統音楽の要素を強く受け継ぐ変拍子主体のリズムで演奏される。
- 我が国は、2005年に文化無償資金協力により国立交響楽団に楽器を供与した。2012年度には、指揮者の矢崎彦太郎氏が文化交流使として来訪し、国立交響楽団を指導、指揮した。

【文学】

- アルジェリア生まれのフランス人作家として、ノーベル文学賞を受賞したアルベール・カミュが有名（「異邦人」等）。アルジェリア人の作家としては、ムールード・フェラウン、カーティブ・ヤシーン、ムハンマド・ディーブ、マーレク・ハッダード、ヤスミナ・ハドラ、カメル・ダウド等が挙げられる。また14世紀の歴史学者イブン・ハルドゥーンが「歴史序説」を執筆したのは、現在のアルジェリアに位置するイブン・サラーマ城であった。

【料理】

- 伝統的な食事は、クスクスと呼ばれる蒸したセモリナ小麦粉の粒に、羊肉や鶏肉と野菜等を煮込んだスープをかけて食べるもの。クスクスの製法、材料、味付けは、地方毎に異なる。大事な来客があった際や、祝い事の席では、ホスト自らがメシュイ（羊丸焼き）を手づかみで取り分けて出席者に振る舞う習慣がある。
- 一般にアルジェリア人はイスラム教徒であり、豚肉とアルコールは口にしない。通常、食事にはフォークやスプーンを用い、かつては手で食べる習慣もあったが、今では上記のような特別の機会を除いて極めて稀。

（了）